



出穂は平年より早い予想！ 間断かん水で根の活力維持し、出穂に備えましょう！ 斑点米カメムシ類多い！対策を万全に！

◎ 生育概況と技術対策

「雪若丸」の7月20日現在の生育は、指標値と比べ、草丈はやや長く、茎数は多く、葉数はやや多く、葉色は並みとなっています。

出穂期は、農業総合研究センター（山形市みのりが丘）で7月31日頃（平年8月2日）、水田農業研究所（鶴岡市藤島）で7月28日頃（平年8月2日）と平年より早い見込みです。

平坦部「雪若丸」の生育（7月20日）

項目	調査値	指標値	指標比・差
草丈	66.6 cm	64.0 cm	104 やや長い
茎数	665 本/m ²	610 本/m ²	109 多い
葉数	12.1 枚	11.6 枚	0.5 やや多い
葉色 (SPAD)	40.9	40.8	0.1 並み

※各農業技術普及課の調査結果を平均した値

「雪若丸」予想出穂期（7月19日現在、農業総合研究センター調べ）

場所	予想出穂期	平年出穂期	平年差
山形市みのりが丘	7月31日	8月2日*	-2日
鶴岡市藤島	7月28日	8月2日	-5日

※過去6か年（H27～R2）の平均値

（1）間断かん水で根の活力維持！出穂直前から湛水管理！

出穂までの水管理は間断かん水を基本とします。土壌を酸化的に保ち、根に水分と酸素を供給しながら、根の活力維持に努めましょう。

出穂・開花期は、水を最も必要とする「花水」の時期です。出穂直前から穂揃期までは2～5 cmの水深を保つように管理します。

（2）斑点米カメムシ類対策を万全に！

斑点米カメムシ類の発生が多くなっています。斑点米カメムシ類はイネ科植物等の雑草で増殖するので、まだ雑草が繁茂しているところがあれば、至急除草対策を行いましょ

農作業事故と熱中症に十分注意してください！

休憩をこまめにとり、水分補給を行いながら、無理のない作業を！